

小児のアトピー性皮膚炎診断基準

厚生省心身障害研究「小児慢性疾患のトータルケアに関する研究」。「小児期のアレルギー疾患に関する研究」研究班案

三河春樹, 飯倉洋治, 池澤善郎, 馬場 実, 眞弓光文,
向山徳子, 山本一哉

要約：小児アトピー性皮膚炎患児の増加が最近問題となっている。しかしながら、小児、特に乳幼児のアトピー性皮膚炎の診断は必ずしも容易ではなく、小児アトピー性皮膚炎の実態の把握のためにも、その診断基準の確立が望まれていた。今回、我々は小児のアトピー性皮膚炎診断基準（案）を作製し、あわせて、乳幼児検診用により平易な言葉を用いた“アトピー性皮膚炎の見分け方”を作製した。

見出し語：アトピー性皮膚炎、小児、診断基準

一部混乱の見られる小児期のアトピー性皮膚炎の診断をより容易で確かなものにするために、表1に示す診断基準を作製した。

表1. アトピー性皮膚炎の診断基準

(厚生省心身障害研究「小児期のアレルギー疾患に関する研究」研究班)

I まえがき

アトピー性皮膚炎とはアトピー素因のあるものに生じ易い主として慢性に経過する湿疹病変である。従って、アトピーの家族歴や既往歴と一定の関係の有するが、乳児の場合、未だ慢性経過の完成を見ておらず、患者本人や家族のアトピー歴も完結を見ていないため本症の診断に当たって年齢

による配慮が必要である。

II アトピー性皮膚炎に関係のある湿疹病変には次のようなものがある。

(1) 乳児について

- a) 痒み, 掻抓痕
- b) 顔面, 頭部の紅斑, 丘疹
- c) 頸部, 体幹に波及することがある。

Note：脂漏性皮膚炎にはアトピー性皮膚炎に発疹するものがある。

脂漏性皮膚炎では有毛部に限局するものが多い。

(2) 幼児・学童について

- a) 痒み, 掻抓痕

- b) 頸部，四肢屈側（腋窩，肘窩，膝窩）の丘疹，紅斑，苔癬化病変
- c) 乾燥性皮膚や秕糠様落屑を伴う毛孔一致性角化性丘疹
- d) 体幹四肢の痒疹

Ⅲ 診断基準

- (1) 乳児について
 - 慢性経過，アトピー歴には必ずしも拘束されない。症例によっては上記の皮疹のみで暫定診断とする。
- (2) 幼児・学童について
 - a) 痒み
 - b) 慢性経過
 - c) 上記の皮疹

Ⅳ 鑑別診断に重要な皮膚疾患

- 1) おむつかぶれ
- 2) あせも
- 3) 伝染性膿痂疹
- 4) 接触皮膚炎
- 5) 皮膚Candida症
- 6) 脂漏性皮膚炎
- 7) 尋常性魚鱗癬
- 8) 疥癬
- 9) 虫刺症
- 10) 毛孔性苔癬

また，アトピー性皮膚炎の重症度の判定基準を表2に示すように定めた。

表2. アトピー性皮膚炎の重症度

期間	皮膚症状の程度		
	軽症	中等症	重症
1 季節	軽症	軽症	中等症
2 - 3 季節	軽症	中等症	重症
1 年を通じて	中等症	重症	重症

(注) 原則として乳児期にはアトピー性皮膚炎の重症度は判定しない。症状の程度で表現するに止めることとする。

皮膚症状の程度

- 1. 軽症 罹患面積が限局し，皮疹の状態が軽度のもの
- 2. 中等症 軽症と重症の中間のもの
- 3. 重症 罹患面積は軽快時に限局することもあるが，概して広範囲に及び，皮疹の状態は重度のもの

さらに，乳幼児検診など，一般フィールドでのアトピー性皮膚炎の診断の助けになるよう，表3に示すように，より平易な言葉を用いた乳幼児検診用の“アトピー性皮膚炎の見分け方”を作製した。

表3. アトピー性皮膚炎の見分け方（乳幼児検診用）

<アトピー性皮膚炎に関係のある湿疹病変>

- (1) 乳児について
 - a) 痒い
 - b) 顔や頭部が赤くなり，バイ菌の感染が加わるとじゅくじゅくする。耳ぎれがおこる。
 - c) 爪で掻いた傷跡が多く見られる。
 - d) 頸や体まで湿疹が波及している。

(2) 幼児・学童について

- a) 痒い
 - b) 頸部，腋窩，肘窩，膝窩に赤いぶつぶつが
できやすく，長期に渡る頻回の搔抓により
全体として厚く硬くなる。
 - c) 皮膚が乾燥し毛孔に一致して小さなぶつぶ
つが現われる。また皮膚が米ぬか様にぼろ
ぼろと落屑する。
 - d) かゆくて硬いしこりが全体に出来る。
-



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



要約:小児アトピー性皮膚炎患児の増加が最近問題となっている。しかしながら,小児,特に乳幼児のアトピー性皮膚炎の診断は必ずしも容易ではなく,小児アトピー性皮膚炎の実態の把握のためにも,その診断基準の確立が望まれていた。今回、我々は小児のアトピー性皮膚炎診断基準(案)を作製し,あわせて,乳幼児検診用により平易な言葉を用いた"アトピー性皮膚炎の見分け方"を作製した。